



第10回 RELO CLUB 全日本企業対抗ゴルフトーナメント
じゃらんゴルフCUPダブルス 2014
関東D日程地区予選大会 競技規則 (2014年2月19日改定)

開催日：2014年2月22日(土)
会場：東千葉カントリークラブ東コース
企画/運営：SCORENET

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会(JGA)ゴルフ規則2014及び大会ローカルルールを適用する。
カップインまでOKパット無しのノータッチ。6インチプレスも無しとする。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。

3. ラウンド中に使用する球についての規則

本競技ではワンボール条件は適用しないものとする。

4. ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では、競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはならない。この条件の違反の罰は、次のホールに2打課せられ最終ホールにおいてはそのホールに2打課せられる。
(前半と後半のインターバル時での指定練習グリーンでのパッティング練習を除く)

5. 険悪な気象条件・日没などのため競技が中止になった場合

競技中止の時点で全チームが9ホールズを消化していれば、競技成立。
消化していなければ競技不成立とする。尚、9ホールズでの競技成立の場合はアウトスタートインスタートに分けて、それぞれの9ホールのスコアが最小のチームを1位チームとする。
タイスコアが生じた場合は、アウトスタートは9番から、インスタートは18番からのカウントバックにより順位を決定する。

6. タイスコアの場合

18ホールズ終了後、チームスコアが同じ場合はアウト・インどちらのスタートにもかかわらず18番ホールからのカウントバックにより順位を決定する。
なお、上位チームには同大会のダブルス2013決勝大会への出場権が与えられる。
(有資格チームを除く)

7. アドバイス

プレーヤーは同じチーム内のパートナー及びキャディからアドバイスを受けることができる。
なお他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、アドバイスを求めたりした場合にはJGAゴルフ規則第8条によりそのホール2罰打を付加する。

8. パートナーについて

自チームのパートナーはプレーヤーサイドの者とし、パートナー自身またはパートナーの所持品にボールが当たった場合は、自分自身の場合と同様に規則19-2により1罰打が課せられる。

9. 処置について

疑問のある場合は1ホールのプレー中に競技者が自分の権利やとるべき処置について問題をもった場合、その競技者は罰なしに第2の球をプレーすることができる。第2の球を打つ行動を起こす前に競技者は規則により許されれば、その球でのスコアを採用したいと思う球をマーカーに告げておくこと。どちらの球のスコアも同じであった場合を除き、競技者はスコアカードを提出する前にその事実を報告しなければならない。

※第2の球の処置をした場合は2つのスコアを記入し、スコアカード提出時に大会事務局の裁定をおおぐこと。

10. 空き時間の練習について

昼食時の空き時間において、練習グリーンでのバッティング練習は行っても構わない。

11. メンバー変更について

ダブルス2014の決勝大会出場権を得た場合のメンバー変更は本予選会と同じメンバーが望ましいが1名までの変更は可能とする。

《ゴルフ場ローカルルールで適応するルール》

1. アウト・オブ・バウンズの境界は白杭で標示する。
2. アンダーリペアの区域は白線又は青杭にて示す。同区域に入った球は必ずその最も近い外側でホールに近づかない地点を決定し、その地点から1クラブ以内にドロップする。
3. 予備グリーンとそのカラー（グリーン廻りの短く刈ってある部分）に乗った球及びそれにスタンスがかかる時は、必ずその最も近い外側でホールに近づかない地点を決定し、その地点から1クラブ以内にドロップする。
4. 東2、8番ホールの池、または小川はラテラル・ウォーター・ハザードとし、その境界は赤杭で示す。尚、東2、8番ホールのラテラル・ウォーター・ハザードに球が入った場合、1打付加して“指定ドロップ区域”に球をドロップしなければならない。
東5、18番ホールの池はウォーター・ハザードとし、その境界は水際とする。
5. スルー・ザ・グリーン内に設置された固定物（標識、杭、U字溝、及びその金網、階段、マンホール、砂箱、腰掛、スプリングラー、止水栓、植木の支柱）、カートのレール間の芝の箇所は動かすことの出来ない障害物である。
6. 東1、3、5、6、7、12、15、17番ホールに於いて第1打がOB及び紛失した場合は、前方特設ティより第4打としてドロップしてプレーしなければならない。
7. その他、臨時の規則は当クラブハウスにその都度掲示し、上記以外は総てJGAゴルフ規則及びクラブ競技規則による。

追加1：乗用カートに搭載されているナビゲーションの距離表示機能は、全ての競技において使用を認めることとする。

追加2：東1番台9番、14番台15番ホールに於いて球が境界（1ペナ杭）を越えた場合は、使用するホールに平行移動して、1打付加し、境界より2クラブレンジ以内にドロップしなければならない。また、1ペナ杭は動かさない障害物とする。

《競技方法》

1. 18ホールズフォアボール（各ホール、チーム内の良い方のスコアを採用）
ストロークプレーによって行う。
2. ティショットは前ホールのチームスコアの良いチームから行う。
その際チーム内で打順の変更は可能とする。
スタートホールのティショットに関してはスタート表どおりの順番でプレーする。
但し女性のいるチームに関してはその限りではない。
男性と女性のティ位置が離れている場合は、安全上男性が先に打つこととする。
※マッチプレーではないので、順番の誤りにてのペナルティはない。
3. 原則として遠球先打でプレーする。
4. 男性は**バックティ（青）**・女性は**フロントティ（金）**を使用する。

《競技上の注意事項》

1. 集合

スタート時間の10分前に所定の場所にてアテストシートの配布、ルールの説明を行う。
スタート時刻に遅れた場合は失格というケースもあり、スタート説明を受けずにスタートすることはできない。

2. マナー

本大会ではプレーファーストを提唱しており、来場中及びプレー中は、企業に所属する社会人としての**服装・マナーを遵守すると共に、スロープレーには十分注意しなければならない。**
前組との間隔を1ホール以上空けることのないよう注意すること。
特別な理由がなく前組との間隔が1ホール以上空いた場合には、ペナルティを課すことがあります。
(プレー時間目安：2時間15分以内)

3. アテスト

スタート説明を行う際に大会用スコアカードを配布する。
各選手はマーカーのスコアをスコアカードに記入すること。競技終了後、マーカーとスコアカードを交換し、各ホールのチームのスコア、チーム（2名分）及びマーカー（2名分）の署名が間違いなく記載されていることを確認の上、
自分のスコアカードをスコアカード提出箱に投入すること。原則投入後の修正は不可です。
スコアカードは遅延無く提出されなくてはならない。

以上